

てんけんくんが行く!! セイルを張ってハッスルハッスル!!

～小田急江の島セイリングクラブ 編～

第10弾



業界のマスコットキャラクター「てんけんくん」がさまざまな場所へ突撃取材を行うシリーズ「てんけんくんが行く」の第10弾。「小田急江の島セイリングクラブ」でインストラクターをされている田村有加さんにてんけんくんが突撃！海上を自由に疾走するディンギー、その点検作業にてんけんくんも感心しかり！

☆

一陣の風が落葉を巻き上げる。いわし雲を背に舞った葉は寝息をたてているてんけんくんの頭上で弧を描くと、そっと鼻に乗った。「ん…？」午後のまどろみから引き起こされるてんけんくん。犬小屋から見上げる空が高い。「君は風に乗れていいなあ」そう呟くてんけんくんのもとに、一通の封書が送られてきた。差出人には「小田急江の島セイリングクラブ」の文字が見える。「セイリング？」点検整備のにおいを感じたてんけんくんは封書を握りしめると、江ノ島へと向かった…

☆

セイリングクラブにおじゃましててんけんくん。さっそく、田村さんにお話を伺った。

てんけんくん：わあ、ここにはたくさんのヨットがありますね！これがディンギーなんですか？

田村さん：そうですよ。ちなみにディンギーとは、「小舟」という意味で、小田急江の島セイリングクラブにはシングルハンド（1人乗り）、スループ（1～2人乗り）、スループ（2～6人乗り）の3種類、ディンギーがあります。

欧米では、ヨットに搭載している上陸用小舟のことをディンギーと呼んでいますが、日本ではセイル（帆のこと）の付いたセイリングディンギーを総称して「ディンギー」と呼んでいます。これはキャビン（部屋）を持たない船で、舵とメインセイルを操作し、風の向きや



原動機のチェックをする田村さん。必ずこういった「航行前点検」を行うことが、最も安全確保に繋がるんだ。



左：ロープワークには大きく分けて3種類、結び目や輪を作る「ノット (Knot)」、ロープを固定物に結びつける「ヒッチ (Hitch)」、二本のロープを結びつける「ベンド (Bend)」がある。これらは15世紀の大航海時代、覇者イギリスでその技法の大部分が完成したと言われている。

右：ノット (Knot) とは船の速度の単位でもある。ノット [1時間1海里 (1,852m)] はロープを流してノット結びをした結び目の数で速度を測ったことによる。

強弱に合わせて乗員が体重でバランスをとりながら走ります。ディンギーはオリンピック競技でも密かに人気のある競技なんですよ！（2004年アテネオリンピックでは関一人選手、轟賢二郎選手のペアチームが銅メダルを獲得しました）

てんけんくん：へえ！そんなに種類があるんですか！もちろん乗り物ですから、点検整備は欠かせないですよ？

田村さん：もちろんディンギーを出港させるには準備、つまり点検整備が必要です。ディンギーは陸上に保管されていますから、海に出る前に機能をチェックし、必要な物が全て揃っているか、浸水箇所や破損箇所がないかを点検します。海上に出てからでは通常修理も不可能です。異常が起きた場合、そ

てんけんくんも点検のお手伝い！
…のはずが邪魔してないか？





田村有加さんと握手！

の状態で帰ってこれなければ「遭難」ということになってしまいます。自動車が運転前に点検を行うのと同じ理由で

す。そうそう、自動車に「車検」があるように、ディンギーの中でも原動機が付いているもの(スループ)は「船検」と呼ばれる国の検査を受けなくてはなりません。3年ごとに「定期検査(国の検査)」と「中間検査(定期点検)」を交互に受検する義務があります、これも自動車と似ていますよね。

てんけんくん：あれ!?面白いロープの結び方をしていますね！

田村さん：ディンギーにおいてロープワークは重要な技術です。海上ではいつどんなことが起きるかわかりません。そのため、船上では、「結びやすく」「自然にゆるまず」「ほどきやすい」結びが要求されるため、通常とは異なる結び方を行います。



有名などころではボーライン・ノット(もやい結び)があります。これは応用範囲が広く、最も基本的なロープワークです。

他にもエイト・ノット(8の字結び)やクリート・ヒッチ(船を接岸固定する結び)と呼ばれる船乗り独特のロープワークがありますが、こういった結び方はヨットから軍艦まで、船のサイズや活動スタイルを超えた世界共通のものなのです。船の「アキレス腱」ともいえるこれらロープの結び目チェックも点検には欠かせません。

てんけんくん、ロープワークにチャレンジ！

他にもエイト・ノット(8の字結び)やクリート・ヒッチ(船を接岸固定する結び)と呼ばれる船乗り独特のロープワークがありますが、こういった結び方はヨットから軍艦まで、船のサイズや活動スタイルを超えた世界共通のものなのです。船の「アキレス腱」ともいえるこれらロープの結び目チェックも点検には欠かせません。

てんけんくん：すごい汎用性のある結び方なんです！ボクもディンギーに乗ってみたいなあ、どうしたら安全に楽しめるんですか？

田村さん：「板一枚下は地獄」と昔の船乗りは言っていました。それだけ海の上は危険だということです。

しかし、現在はライフジャケット等の装備や船の性能も向上し、安全性が以前より確保されています。ディンギーが若者から年配の方まで万人に支持されるマリンスポーツであることから、その安全性の高さがわかりますよね。

海上事故は多くの場合、自分の能力を過信した結果として起こります。どの程度の風まで乗りこなせるか、どの程度気象を読む力があるか、どの程度の非常事態に対応できるか、を常に把握しておく必要があります。海上では基本的に援助は期待できないため、点検整備を怠った状態での出航は大変危険です。したがって、初心者は経験あるベテランに助言や指導を受け、出艇することが必須となります。当クラブではそんな初心者の方が安心して気軽に参加できる「ヨットスクール」を開催しています。ディンギーは数マイルの航海で風と一体になる爽快感を楽しめます。さあ、てんけんくんもどうぞ！

てんけんくん：なるほど！過信がトラブルの原因となるのは自動車と同じだね！よし、僕も点検整備の大事さをみんなにもっと広めなきゃ!! よーし！ディンギーに乗って出発だ～！

☆

てんけんくんの好奇心は止まらない。明日はどこに突撃するのか……(続く)



セイルは推力を得る大切な部位。破れたり、痛んでいないか念入りに確認するんだ。

風と一体になる爽快感を味わえる

[小田急江の島セイリングクラブ]

TEL0466-50-7577

連絡先

<http://www.enoshima-sailingclub.com>



取材協力：小田急江の島セイリングクラブ



てんけんくんもセイリングさせてもらったよ！爽快！